

じゃっと新聞

No.50号

総会のご案内・ツアー報告

発行日：2008. 3. 20

発行人：小幡 順子

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町

11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail jaddo@po2.synapse.ne.jp

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



第50号ごあいさつ

特定非営利活動法人じゃっと 理事長 小幡 順子

「スタディツアーを終えて」

昨年5月の総会で提案し、ご承認いただいた2007年度のスタディツアーの報告会も無事終え、スタディツアーすべての計画が終了いたしました。「参加してくれる学生はいるのだろうか」「事故なく行なえるだろうか」等々、心配事は続きましたがなんとか終了する事ができました。

2月10日に行なわれた報告会では、参加した学生6名がそれぞれの視点で感じたことや、じゃっとへの意見などを発表してくれました。

何回もラオスへ出かけているスタッフにとって「当たり前なこと」が「そうじゃないんだ」と若い目で指摘をされ、反省する点もありました。彼らの感じてくれたことを、これからの活動の参考にして

いきたいと思います。

今回のツアーには40年近く前ラオス支援を行なった青年海外協力隊員OB・OG3名が、一般会員として参加してくださいました。日本でもその時の話を聞くことは出来ますが、ラオスという土地で聞く40年前の活動の話は「すごい」の一言では表せないほどの感動と驚きでした。学生の皆さんも何かを感じてくれていたようです。

「今も昔もポーペンニャンの国だ」とは、OBの神庭さんの言葉です。まだラオスの風にふかれていない会員の皆さん、今年あなたは「ポーペンニャン」と言いながらラオスへ行きませんか？（広東語の「無問題」やタイ語の「マンペイライ」と同じように使われる言葉です。）

2007じゃっどスタディツアー報告

2007年12月23日～12月30日の8日間、高校生4名大学生2名を含む総勢14名で行ってきました。首都ヴィエンチャン近郊の小学校に加え、昨年度より新たに活動地に加わったラオス南部コーン島一帯まで足を伸ばしました。じゃっどのツアーならではの、ラオスの人々との温かいふれあいに満ちた、あじわい深い旅となりました。駆け足ですが、誌面での旅をお楽しみください！

◆1日目(12月23日)出発の日



【早朝のJR川内駅にて】

始発のつばめに乗る福岡へ。福岡空港に移動し、11時発のバンコクエアウェイズ便にてバンコクへ。バンコクに午後3時頃着。飛行時間は6時間で時差が2時間あります。夕方7時過ぎ、ラオス航空便にてヴィエンチャンへ。9時過ぎ無事にワットアイ国際空港に到着。車にてヴィエンチャン中心部・メコン河沿いの「インターシティホテル」に到着。通りに並ぶ出店が旅情を醸し出します。

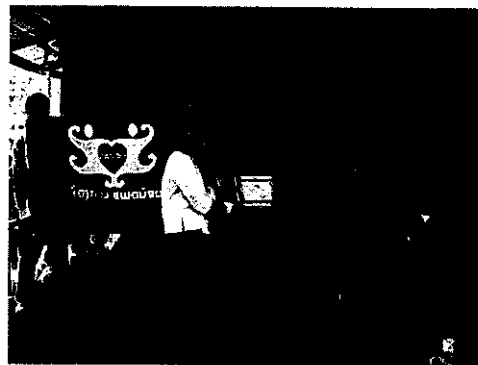


【インターシティホテル】

◆2日目(12月24日)2つの小学校訪問

じゃっどの支援校であるタディンデン小学校とナテ小学校を訪問しました。ヴィエンチャン中心部を抜け、舗装されていない道を土ぼこりを巻き上げながら車が走ります。タディンデン小学校では「机いす募金」による机といすを寄贈しました。その後、校長と村

長を始めとするタディンデン村の皆さんに祝いの儀式「バーシー」をして頂きました。



【感謝状を頂く小幡理事長】

ナテ小学校では、2003年に寄贈したポンプとトイレの状態を視察。ポンプについて、ご参加の横林明雄さんが修理の仕方を校長先生に伝授されました。校庭では付近の若者がサッカーをしており、男子学生は一緒にプレーを楽しみました。



【タディンデン小学校】



【ナテ小学校】

◆2日目夜 JICA・JOCVとの夕食会

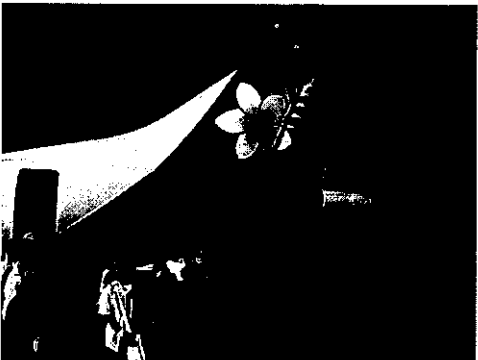
JICA専門家と青年海外協力隊(JOCV)との夕食会。協力隊志望の学生さんにとってとても有意義なひとときとなりました。



【中華料理店にて・参加隊員はみな女性！】

◆3日目(12月25日)ラオス南部へ

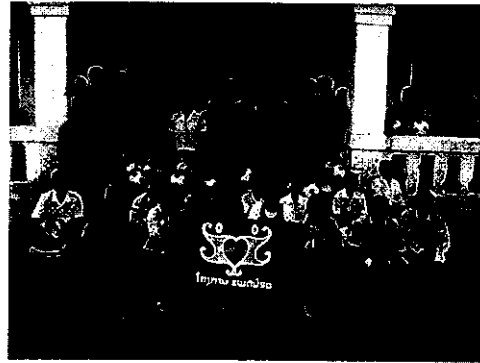
この日はラオス南部・パクセ～コーン島へと移動。早朝4時半ホテルを出発。飛行機、車と乗り継いで、午後コーン島に到着。



【機体にはラオスの国花チャンパー】
パクセ空港にて、じゃっどのラオス側スタッフ、コンサップ医師、ソムチット医師と合流。母子保健の専門家ヴィヴィ医師も同行。コーン島一帯の保健関係者・校長・村長を対象としたセミナーを実施、視察しました。

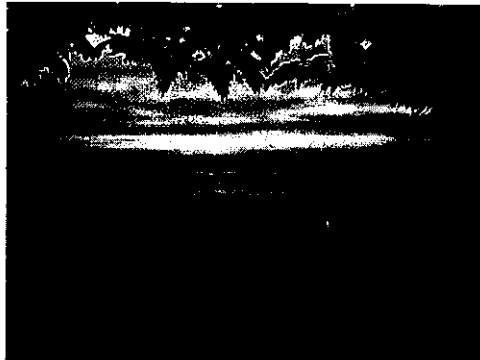


【コンサップ医師による寄生虫の講話】



【スポーツ用品の寄贈も併せて行いました】

◆4日目(12月26日)ドンロンカンへ



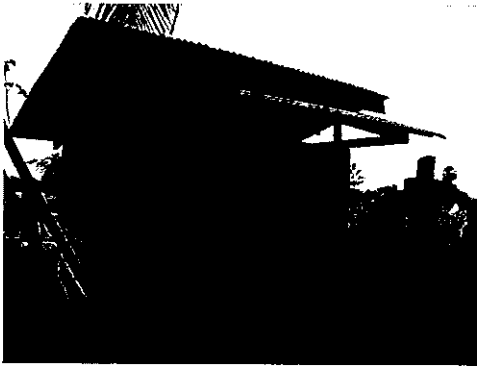
【メコン河の朝焼け】コーン島一帯はメコン河下流の川中島。シーパンドン(4000島)の名がつくほど無数の島があります。ドンロンカンはその中の小さな島です。車とボートを乗り継いで到着。



【彼らの視線の先には・・・水牛が】



ドンロンカンは今年度より新たにじゃっどの支援地区となったところです。小学校のトイレと保健センターのトイレ建設を支援しました。



【小学校・校舎横に建設されたトイレ】2007年7月に完成。



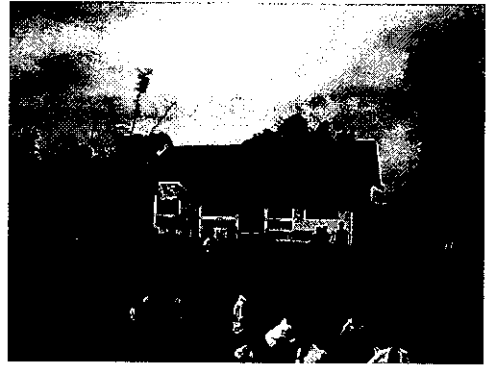
【医療用品、文房具を寄贈】ドンロンカン(島)には車が走っていません。けが・病人の搬送のための担架。



【鉛筆や飴をひとりずつ手渡す】



【加世田中学校の皆さんからの文房具も】ツアー前に集めてくださったものです。ありがとうございます。



【保健センター全景・手前は草取りをする子供】

ドンロンカン小学校から歩いて5分ほどの場所にある保健センター。ここで診療もできるそうです。

庭の草取りをする子供たちの小学校がすぐ隣にありこちらも見学させていただくと、若い女性の先生が子供連れで授業をしていました。



【保健センターのトイレ・扉はこれから設置】



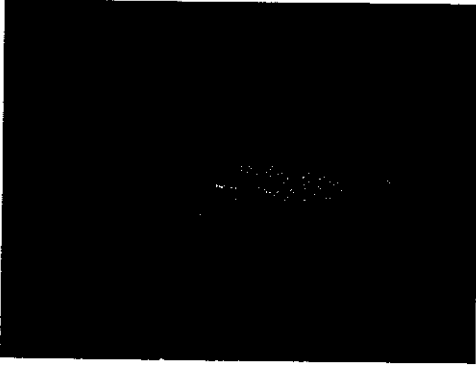
【ドンロンカンのさらに小さな小学校】



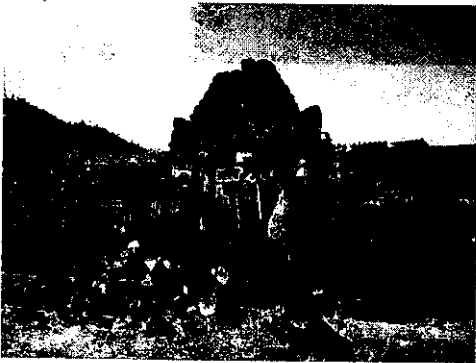
【メコン河下流の滝(メコン・パール)を訊ねたあとカンボジアとの国境付近にて】

◆ 5日目(12月27日)「ワットプー」へ

ラオスには現在世界遺産が2つ。
古都ルアンパヴァンとこの「ワットプー」です。



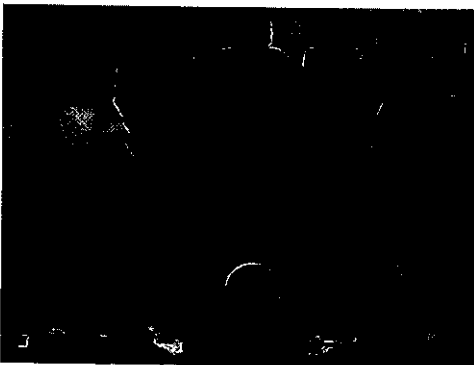
【チャンパスック平原・森の先はカンボジア】



【復元作業は近年始まったばかり】

◆ 6日目(12月28日) 再び、ヴィエンチャンへ

午後より市内観光。凱旋門、タットルアン寺院など見学。タラサオ(市場)にて、じゃつど用の雑貨を買い付け、おみやげ購入。立体駐車場付の新しいモールもできており、経済の発展ぶりが伺えました。



【凱旋門・階段を登り、屋上の展望台へ】

ラオスの通貨はキップ。1万キップが約1ドル弱です。(2007年末時)ドル、タイバーツも流通しており3種類の通貨をお店の人達は自在に計算します。



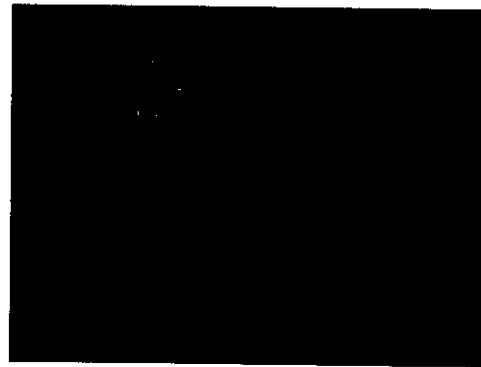
【レストラン「クア・ラオ」にて ラオスの伝統舞踊】

◆ 7日目(12月29日) 図書館・織物工房視察

「シャンティ国際ボランティア会」事務局を訪問。じゃつども参加している「絵本を送る運動」をしている団体です。事務局の鈴木さんによるラオスの学校、教育の現状の話はとても興味深いものでした。



【図書館↑】【日本の絵本にラオ語訳シールが張ってある】



【ラオスの伝統的な絹織物は高い評価を得ています】

◆ ラオス最後の夕食

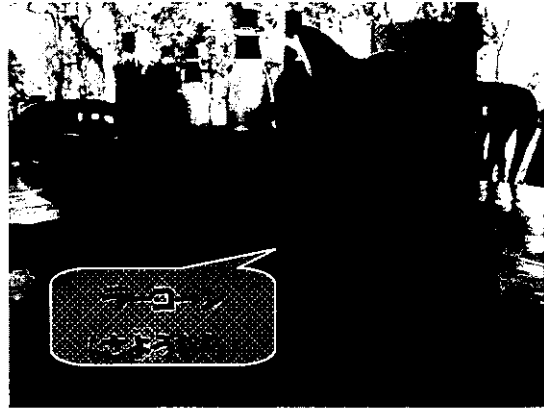
ソムチット医師の兄弟、親戚がフランスやオーストラリアから集まり、久しぶりの一族再会。その中に じゃっどメンバーもお招きいただきました。



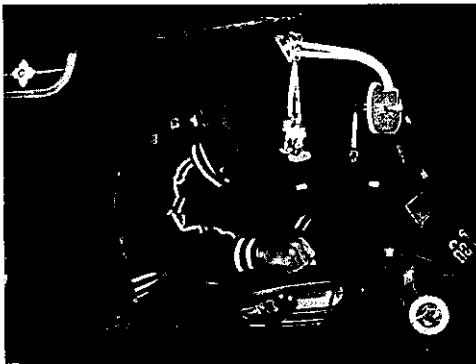
【コンサップ・ソムチット医師宅にて】

◆8日目(12月30日)無事に帰国

来た時と同様にヴィエンチャン～バンコク～福岡と飛行機を乗り継ぎ、のんびりした暖かいラオスから、暮れも押し迫った真冬の日本へ。それぞれの思い出を胸に帰路に着きました。ラオスのみなさん、コプチャイライライ(ありがとう)!

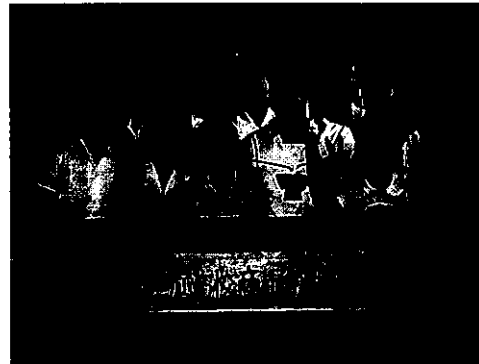


学生枠の参加生からひとこと(帰国報告会発表より)



川内商工1年
砂田裕仁さん

毎朝早起きして街を探索した。今後も視野をひろげたい。



川内商工3年
竹下陽子さん

ボランティア部で集めた募金が机いすになりました。



川内高校1年
内田友一朗さん

ツアーの体験が、日頃の生活を見直す大きなきっかけに。



川内高校1年
松井得輝さん

買物での交渉など、地元の人と直に接することができた。



鹿児島大学1年
日高 葵さん

協力隊志望が強まった。日本を良く知り、世界へ出ます。



鹿児島大学1年
吉田祐基さん

お互いの良いところを尊重し、見習っていくことが大切。

2008年2月10日「じゃっとスタディツアー帰国報告会」@国際交流センター

ツアー参加学生6人のレポート発表、一般参加の方も感想を述べられました。さらに、現在薩摩川内市のALT（英語教師）ミー・チェンさん、ご両親はラオスのモン族出身で、タイに亡命後アメリカへ移住された経緯があります。ミーさん自身はラオスの記憶はほとんどないそうですが「この薩摩川内市で両親の国ラオスと繋がりを持つとは、嬉しい驚きです」とコメントを頂きました。薩摩川内市コミュニティ課の前平氏による講評で締めくくりました。

【一般参加・森谷弥生さん】

（青年海外協力隊で）ボリビア在住の経験があります。現地では新学期になっても学校が始まらず「どうして？」と疑問に思っていると、先生達が給料の未払いに対しストライキをしている、ということがありました。一概には比較できませんが、ラオスでは学校の先生たちが給料の支払いが遅れていても休まずに授業をし続けるという話を聞き、また実際に若い先生が子連れで授業をしている様子など見ると、彼らが教育の大切さを理解し、次代を担う子ども達へなんとか知識を伝えようとしているんだなど実感して胸を打たれました。

【一般参加・神庭光春さん】

昭和41年から2年間、青年海外協力隊派遣でラオスに行き、建設事業に携わっておりました。たまたま夕方のニュースを見ていたところに「MBC賞・・・じゃっと・・・ラオス」という言葉が飛び込んできて、そのあとすぐ事務局に電話をしました。それで今回のツアーに参加することになりました。ツアー中、ラオス人のスタッフも交えた夕食会で「ラオス人も日本人も、私達は家族なのだから」というソムチット医師の言葉がありました。この家族、という言葉がいみじくもじゃっと活動の本質を表していると感じた次第です。

【一般参加・横林宙世さん】

青年海外協力隊員としてラオスで日本語を教えていました。今回ツアーで行ったコーン島、その当時は舗装されていない道路を車で何時間もかけて行ったものですが、今回は飛行機であつという間でした。その頃に住んでいたアパートを訪ねることができ、当時を知る人も再会できました。現在、じゃっとの活動は軌道に乗り、現地のスタッフの力によるところが大きいという印象を受けました。

【一般参加・横林明雄さん】

私にとってラオスは40年前に海外協力隊員として過ごした思い出の地。ラオスの子供たちの目は40年前と変わらず邪気の無い眼差しで心が休まりますね。なぜ私たちはラオスに惹かれるのでしょうか。まだ行かれていない方は、是非一度足をお運びください。「貧しい国で何も無い」と思われるか、「魅力的な人達が悠然と暮らしている！」と感じるか。あなたの感性が問われる旅になることでしょう。

（※報告会へ寄せられたコメントおよび報告会でのご本人による発表より抜粋）

第16回じゃっと定期総会のお知らせ

5月17日(土) 午後3時-4時半

すこやかふれあいフラガ

2008年度のじゃっと活動を定める大切な会です。

会員の皆様が多数ご参加くださいますよう

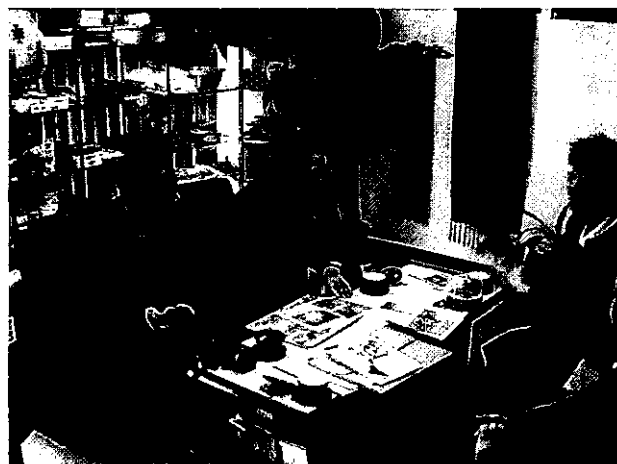
お願い致します。

ご支援、ありがとうございます

2008年3月、九州電力生活協同組合さまより大口寄付を頂きました。2002年度より毎年、ご支援くださっています。援助によりできた設備にじゅっとと九電生協の名入りプレートを取り付けています。



川俣広孝支所長から帖佐事務局長へ



活動報告も行いました

加世田中学校1年生の取り組み

2007年12月、加世田中学校1学年PTAの皆様が事務局を訪問。

活動の趣旨に賛同していただき、学校で文房具を集める活動をしてくださいました。

集まった文房具を今回のツアーで持参、タティンテン小学校、ドンロンカン小学校に寄贈しました。



タティンテン小学校にて

2008年1月、帖佐事務局長が加世田中学校「働く人の話を聞く会」にて、1年生を対象に、じゅっと活動の講演を行いました。

講演で、実際に生徒さんが集めた文房具を手渡している写真を紹介すると、生徒や先生から驚きと喜びの声があがりました。

講演後には「自分達の集めた文房具が、実際にラオスの人たちの役に立っているとわかって嬉しかった」「ちょっと我慢して自分ができる募金を続けたい」などの感想が寄せられました。

その後も、学校内で「1円5円募金」、親子レクレーションとして、南さつま市のスーパーで募金活動を実施して下さったそうです。◆活動の中心になっている加世田中1年生PTA代表、東君子さんより「じゅっと活動のお手伝いをきっかけに、子供たちがボランティアについて良く理解し、実際に行動していることがうれしい。生徒、親、学校の先生、さらに地域の人たちが一体となって盛り上がっています」

【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2007年12月～2008年3月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下敬称略）

- **新規会員** 日高葵、（鹿児島市）砂田裕仁、竹下陽子、松井将師、内田友一郎、森谷弥生（薩摩川内市）吉田祐基（霧島市）横林明雄（千葉県）
- **平成19年度会費** 神彰男、若松郁子、砂田裕仁、竹下陽子、松井将師、内田友一郎、森谷弥生（薩摩川内市）西田泰子（阿久根市）横林明雄（千葉市）
- **平成20年度会費** 吉満朋子（鹿児島市）古川孝子（薩摩川内市）
- **寄付金** 神彰男、帖佐理子、竹下陽子、庵本修二（薩摩川内市）原裕子（埼玉県）丸田小百合（いちき串木野市）横林明雄（千葉県）
- **机、いす募金** 4口：長谷川順一、福山清和（薩摩川内市）
2口：竹下陽子、砂田裕二、中川清、中村千亜紀、山口浩二、別府俊一、別府晶子、溝上德行、堀ノ内美年、砂岳隆一、砂岳里子、植村豊、川畑央、川畑豊美、薩摩川内市市民福祉部市民政策課一同、水流信雄、田代博幸、菊池さなえ、庵泰徳、江口勝、江口あゆみ、鷲山正美、池田日出、帖佐理子（薩摩川内市）横林明雄（千葉県）
1口：神彰男、松井将師、羽根田登志美、鬼塚秀範、鶴屋豊文、橋口誠、小島早智子、宮脇信嗣、藤田善心、山元義一、落春利、宮里正子、津曲昭子、谷口真毅、（薩摩川内市）三重浩子（鹿児島市）

- **大口寄付** 九州電力生活協同組合（鹿児島市）
帖佐理子（薩摩川内市）、

- **委託販売** Cuir Hair 仮屋洋子
めん道楽店内「ギャラリー道楽」竹下美恵子

【国内活動】

- 11月20日 ニュースレター49号発行
- 11月29日 ジャっどブログ更新（ジャっど新聞をダウンロードできます）
- 12月2日 ジャっどスタディツアー オリエンテーション（参加学生6名、一般参加1名、事務局3名）
- 12月4日 スタディツアー参加高校生、市長表敬訪問（ツアー学生枠参加の川内商工生2名、川内高校生2

名、小幡、帖佐、古田、泊）

- 12月16日 NPO意見交換会 於：県民交流センター（小幡）
- 12月18日 加世田中学校1年生PTA ジャっど事務局訪問
- 12月23日 2007ジャっどスタディツアー
～（一般参加4名、学生枠参加6名、事務局4名）
- 12月30日 合計14名参加
- 【2008年】
- 1月4日 川内高校、川内商工、薩摩川内市役所にツアー修了の報告、帰国報告会のお知らせ（古田・泊）
- 1月～ 薩摩川内市役所（教育委員会）、れいめい高校、川内高校、川内商工、国際交流センター、純心大学、中央公民館、市立図書館を訪問「帰国報告会」の広報依頼
- 1月18日 ジャっどブログ更新（帰国報告会のお知らせ）
- 1月22日 加世田中学校1年生「働く人の話を聴く会」にてジャっど活動講演（帖佐理事）
- 1月23日 薩摩川内市国際交流協会ネットワーク団体助成金交付申請、同報告書提出
- 1月25日 川内小学校にてジャっど活動講演（古田理事）
- 2月2日 青少年健全育成意見発表大会 於：国際交流センター（ジャっど後援、小幡理事長参加）
- 2月6日 薩摩川内市役所コミュニティ課、川内商工ボランティア部訪問（机いす募金御礼、帰国報告会広報）
- 2月10日 ジャっどスタディツアー帰国報告会 於：薩摩川内市国際交流センター
- 2月25日 ジャっどブログ更新（きやんせふるさとフェスタバザー出店、ラオス雑貨入荷のお知らせ）
- 3月4日 九州電力生活協同組合「寄付贈呈式」於：ジャっど事務局（川俣支所長、畑中氏来訪）

■ 会費納入のお願い

各会員様の会費納入状況（会費有効期限）は、宛名シール内に記載してあります。ご確認くださいませようお願いします。なお、次年度平成20年度会費の有効期間は、平成20年4月1日～平成21年3月31日となります。

ジャっどの活動は皆様の会費に支えられています。引き続きご支援くださいますようよろしく申し上げます。机、いす募金は随時募集しております。

郵便局： 0250-2-4746 口座名 JADDO

じゃっと INFORMATION

◆じゃっとの雑貨、取り扱い店が増えました！

NP0じゃっとはラオスの紹介、じゃっと活動の広報活動の一環としてスタディツアー時に買い付けた現地雑貨の販売を行っています。手作業による繻子刺繍や機物、手頃なお値段できれいな発色のストールなどふだんの生活に取り入れると、素敵なアクセントになります。

じゃっと事務局のほか、薩摩川内市向田の美容室「キュア」さんに加え、このたび薩摩川内市小倉町の「めん道楽」さん(竹下さん)に置いていただくことになりました。お出かけの際には、ぜひお立ち寄りください！

■美容室「キュア」(仮屋洋子さん)

薩摩川内市西向田町 14-23 4階

TEL: 0996-20-3169

■飲食店「めん道楽」(竹下美恵子さん)

薩摩川内市小倉町 6233-1

(3号線沿・市街地から水引方面へ道路右手)

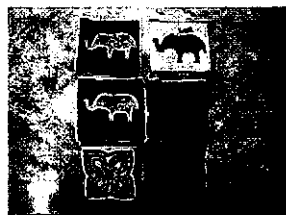
TEL: 0996-30-2270

◆新しい雑貨が入荷しています

年末のスタディツアー時に買い付けてきたものです。人気のモン族グッズ、美しい絹織物など入荷しています。



●モン族肩掛けかばん 900円



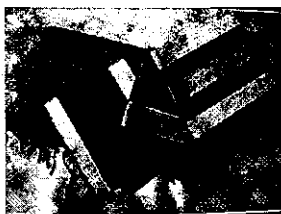
●ミニポーチ 300円より



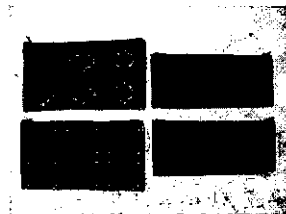
●シルクストール 1000円



●めいぐるみ 800円より



●ストライプ絹織物 1300円



●刺繍ペンケース 700円

◆きやんせふるさとフェスタにバザー出店

3月15日(土)16日(日)

10時~16時・JR川内駅前通り

※ 販売のお手伝いをしてくださる方も募集しています。事務局までご連絡ください。



◆じゃっとパネル展のお知らせ

3月10日(月)~3月21日(金)

宮崎銀行川内支店で展示中です

◎◎◎ 編集後記 ◎◎◎

●じゃっとツアー帰国報告会にて参加者の報告を聞き、とても魅力的な国ラオスにまた行きたくくなりました。報告会の休憩中に頂いたラープ味のブリッツ、おいしかったです(来場者特典ですね)(K.K)

●事務局だよりで会費納入の方々のお名前を入力するたびに、全国各地から毎年会費はもちろん寄付をいただき、皆様の支援を感謝しています。今回は薩摩川内市役所の職員の方々から机いす募金をたくさんいただき、ありがとうございました。(M.M)

●じゃっとツアー、他では味わえないディープな旅でした。ラオスの人々の控えめでニコニコと微笑む姿が印象に残っています。茅葺の家と巨大なパラボランテナが共存しているのも面白い現象でした。(T)

次回じゃっと新聞は「じゃっと総会報告号」、2008年7月の発行予定です。お楽しみに！